

令和6年

第2回仙北市議会定例会
教育行政報告

仙北市教育委員会

令和6年2月26日

令和6年第2回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【学校適正配置準備室】

◇角館小学校と白岩小学校の統合について

1月18日、両校関係者による最後の統合準備委員会が開催されました。昨年7月から専門部会を含め11回にわたって会議が行われ、統合に向けた調整項目の協議がすべて終了しました。

1月29日には、桃園豊弘(ももぞの とよひろ)委員長、青柳徹(あおやぎとおる)副委員長から教育委員会に対し、協議結果の報告書が提出されました。

この報告を受け、2月8日に教育委員会を開催し、令和7年4月1日に両校を統合し、校名は「角館小学校」とすることが適当であると判断しました。

本議会に、仙北市立小中学校条例の一部を改正する条例案を提出しておりますので、ご審議のほどよろしくお願ひします。

◇学校適正配置の推進状況について

今年度は、学校適正配置方針に基づき、望ましい学校規模を具体化するとともに、その実現方法の方向性を学校適正配置計画(骨子案)にまとめるべく作業を進めています。

骨子案については、今年度上半期に行った市民意見交換会などを踏まえて原案を作成し、12月に、こども園、保育園及び小・中学校の保護者に中間まとめの報告を行い意見を伺いました。また、来年度から、計画の具体的な実施内容を検討していくため、保護者が考える学校再編案についてアンケートを行いました。

詳しい内容については、本議会定例会の会期中に議員の皆様にご説明の機会を設けさせていただく予定です。

【学校教育課】

◇第67回秋田県中学校スキー大会の結果について

1月12日から14日に鹿角市の花輪スキー場と秋田八幡平スキー場を会

場で開催された第67回秋田県中学校スキー大会において、クロスカントリー男子クラシカル・フリーで神代中学校3年の清水快真(しみず かいしん)さんが第3位を獲得しました。他にも男子では神代中学校1年の清水健真(しみず けんしん)さん、津嶋柚汰(つしま ゆうた)さん、女子では神代中学校1年の荒澤凜桜(あらさわ りお)さんがクラシカル・フリーともに上位入賞を果たし東北・全国大会の出場権を獲得しました。

また、アルペン女子回転で、神代中学校3年の三嶋愛美(みしま あみ)さんが上位入賞を果たし東北大会の出場権を獲得しました。

◇第60回東北中学校スキー大会について

1月26日から27日に青森県弘前市岩木青少年スポーツセンター特設クロスカントリーコースにて、第60回東北中学校スキー大会が開催され、神代中学校3年の清水快真(しみず かいしん)さんがクロスカントリー男子フリーで第4位、クラシカルで第6位となりました。なお、アルペン競技は雪不足のため中止となりました。

◇第54回大曲仙北小中学校スキー大会について

1月27日、28日にたぎわ湖スキー場・田沢湖スポーツセンタークロスカントリーコースを会場に大曲仙北小中学校スキー大会が開催されました。郡内の小中学校から117名の参加があり、本市からは44名が参加しました。シーズン当初は雪不足が心配されましたが、その後の降雪により昨年同様に開催できました。今までの練習の成果を発揮しようと懸命に頑張る子どもたちの姿が見られました。

【北浦教育文化研究所】

◇中学生企業説明会について

2月13日に市内に拠点を置く12企業の協力を得て、中学生企業説明会を行いました。対象は市内の全中学校2年生です。本事業は「ふるさとに残って生きていくという選択肢についてよく知ってほしい」という思いから、ヤマメ・サクラマスプロジェクトの一環として実施しているもので、今年度が2年目となります。参加した生徒からは、「企業の名前は知っていたがどんな仕

事をしているのかは知らなかった」、「地元こんなすごい企業があることを初めて知った」、「ふるさとに生きることも考えてみたいと思った」などの声が聞かれました。本事業は官・民・学の連携を深め来年度以降も継続し、「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」をさらに充実させてまいります。

◇「仙北市わくわくスタンプラリー」の提言等について

2月20日に神代小学校児童会の代表が市及び関係機関に対して「仙北市わくわくスタンプラリー」の提言を行いました。仙北市の子どもたちは、これまで「子ども議会」、「子どもサミット」において市を活性化していくためにはどうすれば良いのかを考え、市に対して提言を行ってきました。スタンプラリーもその一つとなります。令和4年度の「子ども議会」で神代小学校が提案したスタンプラリーを、令和5年度の「子どもサミット」において市内全校で検討し、この度提言の運びとなりました。これとは別に、白岩小学校、生保内小学校代表が自校で検討した市活性化の方策を発表しました。

現在、各校で「社会やふるさととつながった学び」が展開されています。教育委員会はこれをサポートし、「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」をさらに充実させてまいります。

◇能登半島地震の被災地への義援金について

1月11日に開催された「子どもサミット」で、能登半島地震の被災地に対して仙北市の小・中学生で義援金を送ることが決議されました。これを受けて各校で寄付を募り、先生方の協力もいただき、最終的に383,611円の義援金が寄せられました。2月7日に、提案者である神代中学校の生徒代表が秋田魁新報社角館支局に義援金を届けております。

【公民館】

◇新年書きぞめ展について

1月11日から18日まで、平福記念美術館において、「新年書きぞめ展」を開催しました。市内小・中学校より34点の応募があり、力作ぞろいの作品をたくさんの方に鑑賞していただきました。

【総合給食センター】

◇思い出に残る給食について

12月から2月までの期間、小・中学校の最高学年を対象にスペシャル給食を実施しています。いつもより豪華なおかずと、自分たちで選んだデザートや飲み物で思い出に残る給食を楽しんでいます。

また、1月の全国学校給食週間では、秋田の郷土料理や秋田県産の食材を取り入れた給食として、秋田県産牛の牛丼煮やはたはたフライ、だまこ汁、そして子どもたちに人気の高い角館の郷土料理「おかりば焼き」が提供されました。3月には学校給食が最後となる中学校3年生にもう一度食べたいメニューを聞いて献立作成に活かす「リクエスト給食」が実施されます。

◇神代中学校の取り組みについて

神代中学校では今年度生徒会が主体となり、「給食残食ゼロ日本一」を目指しています。SDGsの一環としても取り組まれており、定期的に残食量調査を行うことで、生徒一人ひとりの食品ロス削減に向けた意欲が高まっています。残食はほぼゼロで、完食率は非常に高くなっています。給食センターでは、喫食後の食缶(残菜)の写真を撮り、残食率を示すなどの協力を行っています。また、神代中学校の取り組みを受けて、下処理で出る野菜の廃棄をできるだけ減らす工夫をし、SDGsに取り組んでいます。

【学習資料館・イベント交流館】

◇読書感想文コンクールについて

今年度も恒例の仙北市読書感想文コンクールを開催し、市内各校から選抜された57点の応募がありました。その中から20名の入賞者が決定しました。

仙北市長賞は小中学校の部で西明寺小学校2年の西宮志菜(にしみやしま)さん、高校の部で角館高等学校3年の佐藤優美(さとう ゆうみ)さんが受賞しました。

角館図書館後援会長賞は角館小学校6年の布谷琉毅(ぬのや るき)さ

ん、角館高等学校3年の菊田一葉(きくた かずは)さんが、教育長賞は西明寺小学校4年の佐藤好皆(さとう このみ)さん、角館中学校2年の若松海那(わかまつ みいな)さん、角館高等学校1年の小松心愛(こまつ ここあ)さんが受賞しました。

また特別賞として、株式会社新潮社から新潮文庫賞が神代小学校6年の羽場仁子(はば にこ)さん、角館高等学校3年の藤原洸介(ふじわら こうすけ)さんに贈られました。

【平福記念美術館】

◇第46回児童生徒県南美術展について

11月26日から1月24日まで「第46回児童生徒県南美術展」を開催しました。会期中の入館者数は2,754人でした。今回は小・中学校76校から962点の絵画や立体作品が出品され、11月22日の審査会で特賞23点、奨励賞200点、入選739点が決定しました。仙北市の特賞受賞者は1名で、仙北市教育委員会教育長賞に桜木内小学校1年の桜田結(さくらだ ゆい)さんが選ばれました。なお、特賞受賞者の表彰式を4年振りに開催し、審査員の先生方から特賞作品についての講評をいただきながら、特賞受賞者に賞状及び記念品を渡すことができました。

また、12月24日から1月24日まで館内カルチャールームを会場に「お気に入りの角館展」及び「角館中美術部展」を開催しました。角館中学校全クラスの生徒が描いた町の風景のスケッチや美術部員の作品を展示しました。

以上、教育行政に関する報告を申し上げ、教育行政報告といたします。